

令和5年第2回

区づくり推進横浜市議員会議

会議資料

令和5年6月8日

都 筑 区

## 目 次

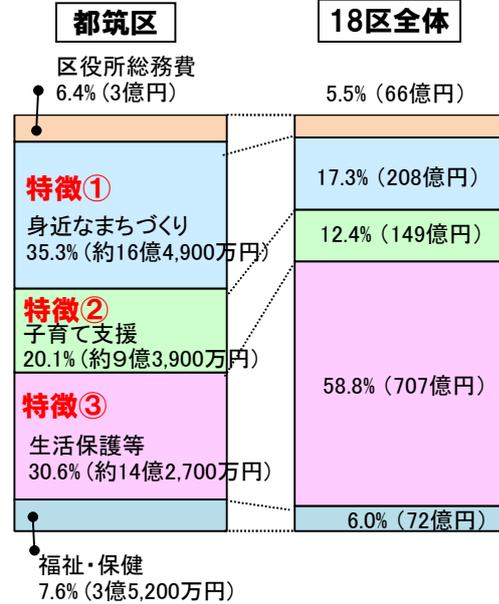
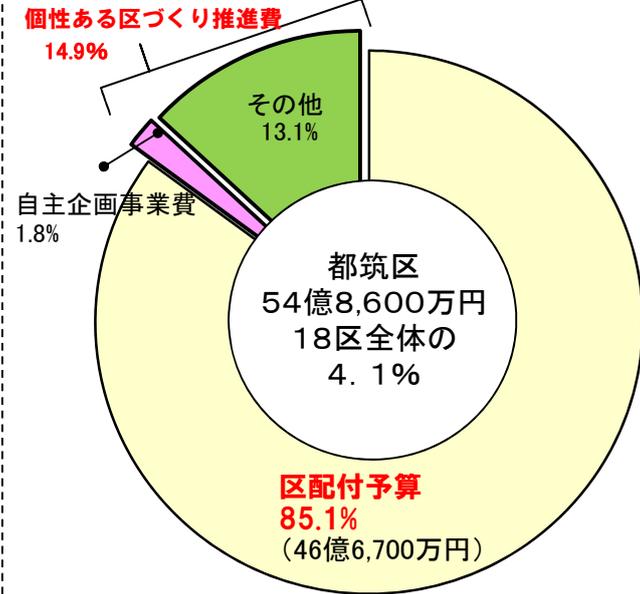
令和5年度 都筑区に係る予算のすがた（令和5年度一般会計予算）	3
令和5年度 主な事業内容	4
令和5年度 都筑区編成予算 総括説明書	5
令和5年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算 概要	6
施策1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち	
1 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業	8
2 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	11
3 つづき健康づくりサポート事業	13
4 食と暮らしの安全推進事業	15
5 自治会町内会の地域運営応援事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	17
6 地域活動の活性化事業（区民活動センター・読書活動・青少年のボランティア） <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	19
7 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	22
8 障害者交流啓発事業	23
9 まちづくり総合調整事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	24
10 危機管理対策推進事業	25
11 災害にそなえる自助・共助の推進事業	26
12 安全・安心なまちづくり事業	28
13 広報・広聴事業	29
14 スムーズ区役所事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	30
施策2 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	
15 横浜ビー・コルセアーズを活かしたホームタウン活動推進事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">新規</span> <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	31
16 文化とスポーツであふれるまちづくり推進事業	32
17 区民の交流促進事業（区民まつり・ドイツクリスマスマーケット）	34
18 在住外国人支援・国際交流事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	35
19 メイドインつづき推進事業	36
20 商店街の魅力発信事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	37
施策3 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	
21 環境にやさしいまち推進事業	38
22 みんなで花と緑のまちづくり事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">拡充</span>	40

## 都筑区に係る予算のすがた（令和5年度一般会計予算）

一般会計は、福祉、保健、道路・公園の維持管理など基礎的な行政サービスを行う会計で、主に市税（市民税及び固定資産税など）などが使われています。横浜市の一般会計の規模は1兆9,022億円ですが、このうち区が執行している予算の規模（区の人件費は含まない）は1,341億円です。

【グラフ1 都筑区の予算規模】

【グラフ2 区配付予算の構成】  
～18区全体との比較～



個性ある区づくり推進費 14.9% (8億1,824万円)

【内訳】

自主企画事業費	1億36万円
その他	7億1,788万円
統合事業費	1,958万円
統合事務費	2,153万円
区庁舎・区民利用施設管理費	6億7,677万円

注：各項目で四捨五入をしているため、合計額と一致しない場合があります。

### 都筑区の予算の特徴

令和5年度一般会計予算の中で、都筑区が執行している予算の規模（人件費は含まない）は、約54億8,600万円となっており、18区全体の予算のおよそ4.1%を占めています。

このうち、区が自律編成を行う「個性ある区づくり推進費」は、約8億1,824万円となっており、都筑区に係る予算の約14.9%となっています。

「個性ある区づくり推進費」は、地域の課題やニーズに迅速かつきめ細やかに対応するための「自主企画事業費」や、広報よこはま区版の発行経費等の「統合事業費」、郵送費や消耗品費等の「統合事務費」、区総合庁舎や区民利用施設の管理・修繕費などの「区庁舎・区民利用施設管理費」で構成されています。

区に係る予算の中でも大部分を占めているのは、局から予算配付を受け区が執行している「区配付予算」で、都筑区全体の約85.1%に及び、予算額は約46億6,700万円となっています。

#### 「区配付予算」の都筑区の特徴

①「身近なまちづくり」（土木事務所が執行する道路・公園等の維持管理に係る予算）・・・約16億4,900万円  
区が管理する公園面積は134万7,146㎡で、18区中1位の面積を有しており、予算額は18区中2位となっています。

②「子育て支援」（市立保育所の運営や放課後児童育成などに係る予算）・・・・・・・約9億3,900万円  
年少人口（0～14歳）は、構成割合は1位・人数は5位と、ともに市内で上位であり、予算額は18区中7位となっています。

③「生活保護等」（生活困窮者に対する扶助費を支給するための経費などに係る予算）・・・約14億2,700万円  
生活保護費支給世帯数は令和5年3月末現在1,196世帯であり、世帯数、予算額共に18区中18位となっています。

## 令和5年度主な事業内容

(単位:百万円)

分類	予算	説明
<b>個性ある区づくり推進費</b>	<b>818</b>	区の裁量や創意工夫に基づき自律編成する予算
自主企画事業費	100	地域の身近な課題やニーズに、迅速かつ、きめ細かく対応するための事業費です。
統合事務事業費 区庁舎・区民利用施設管理費	718	広報よこはま各区分の発行や各区市民相談、青少年指導員等の活動、生活保護及び戸籍・住民登録等に係る経費及び区庁舎や地区センターなどの区民利用施設の管理運営に係る経費です。
<b>区配付予算</b>	<b>4,667</b>	局からの予算配付を受け、区が執行している予算
区役所総務費	300	(総務部が執行する予算です。)
賦課徴収費	169	市税の課税・納税に関わる償還金や還付加算金、納税通知書の作成や発送するための経費などです。
広報費	13	「広報よこはま」や「県のたより」の配布謝金など、広報・広聴に係る経費です。
統計調査費	1	各種統計調査を行うための経費です。
その他	118	戸籍住民登録の事務費、各種選挙の実施、自治会・町内会組織助成などを行います。
身近なまちづくり	1,649	(土木事務所が執行する予算です。) *下水道事業を含む 1,820 百万円
道路修繕費等	1,138	道路の修繕や交通安全施設の整備・補修などを行います。
河川維持管理費等	37	準用河川の維持管理や親水水路の維持管理などを行います。
下水道事業(※参考)	(171)	既設管の修繕や共同排水設備の受託施工などを行います。
公園管理費等	473	身近な公園の維持管理や老朽化した公園施設の改良などを行います。
子育て支援	939	(福祉保健センター等が執行する予算です。)
市立保育所運営	108	保育が必要な乳児、幼児を保育する保育所の運営費
放課後児童健全育成	645	放課後キッズクラブ運営委員会への補助金等
その他	187	地域子育て支援拠点、小児医療費助成等
生活保護等	1,427	(福祉保健センターが執行する予算です。)
生活保護	1,378	生活困窮者に対して、国の定める基準により、その困窮の程度に応じて扶助費を支給するための経費などです。
生活困窮者自立支援	49	生活保護に至る前段階の生活困窮者に対して、国の定める基準に基づき、自立に向けた包括的な相談支援を実施するための経費などです。
福祉・保健	352	(福祉保健センターが執行する予算です。)
障害者福祉	126	身体障害児・者の身体機能を補う用具、日常生活を円滑にするための各種用具の給付・貸与を行うほか、障害状況等に合わせた住宅改造や自立支援機器の購入・取付に関わる経費の助成などを行います。
高齢者福祉	25	老人クラブへの助成や寝たきり高齢者等への日常生活用具の給付・貸与に関わる経費、介護予防型のデイサービス事業(介護保険対象外事業)などを行います。
その他	200	地域ケアプラザの管理運営経費や民生委員・児童委員の活動費の支給などを行います。
<b>合 計</b>	<b>5,486</b>	<b>(※) 下 水 道 事 業 を 含 む 5,657 百万円</b>

- ・ 各項目で四捨五入しているため、合計額と一致しない場合があります。
- ・ 区配付予算は年間を通じた概ねの配付額を算出していますので、あくまでも区に係る予算の大まかな全体像を示した内容となっています。現時点では区への配付額が未定のため、区へ配付する予定額を18区均等配分したものや按分したものも含まれています。

<個性ある区づくり推進費総括表>

(単位：千円)

区 分	令和5年度	令和4年度	増△減
1 自主企画事業費	100,358	101,243	△ 885
2 統合事務事業費	41,112	41,041	71
(1) 統合事務費	21,529	22,296	△ 767
(2) 統合事業費	19,583	18,745	838
3 区庁舎・区民利用施設管理費	676,770	636,012	40,758
合 計	818,240	778,296	39,944

<内訳>

1 自主企画事業費

施 策 の 柱	令和5年度	令和4年度	増△減
(1) 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち	77,670	78,049	△ 379
(2) 活力とにぎわい、魅力あふれるまち	18,003	17,378	625
(3) 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち	4,685	5,816	△ 1,131
合 計	100,358	101,243	△ 885

2 (2) 統合事業費

区 分	令和5年度	令和4年度	増△減
広報よこはま発行事業	10,820	10,167	653
市民相談事業	1,559	1,504	55
クリーンタウン横浜事業	1,460	1,460	0
消費生活推進員活動事業	448	493	△ 45
緊急時情報システム運用事業	440	430	10
スポーツ推進委員支援費	1,895	1,309	586
青少年指導員事業	1,441	1,862	△ 421
学校・家庭・地域連携推進事業	1,520	1,520	0
合 計	19,583	18,745	838

3 区庁舎・区民利用施設管理費

区 分	令和5年度	令和4年度	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	223,141	223,330	△ 189
区版市民活動支援センター	931	931	0
土木事務所管理費（光熱水費含む）	6,518	6,543	△ 25
地区センター等管理費	183,009	151,045	31,964
ログハウス管理費	9,157	8,680	477
公会堂管理費（光熱水費含む）	34,094	33,133	961
老人福祉センター等管理費	110,584	106,463	4,121
コミュニティハウス管理費	52,843	52,346	497
区スポーツセンター管理費	42,496	40,213	2,283
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	8,125	7,786	339
その他（広場・遊び場）	382	482	△ 100
区庁舎・区民利用施設修繕費	5,490	5,060	430
合 計	676,770	636,012	40,758

## ■令和5年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算 概要

都筑区では、「つながり」「活力と魅力」「安心」を実感できるまちの実現に向けて、令和5年度予算編成において、区の目指す姿として3本の柱を設定しました。

区民の皆様がそれぞれの強みを生かし、主体的に地域で活動ができるための支援に取り組めます。また、横浜市中期計画の基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の実現に向けて、子育て支援、デジタル化の推進、災害に備える自助・共助の推進、まちのにぎわいづくり、多文化交流、花と緑のまちづくりの推進などに、区全体で更に一体となって取り組めます。

### 施策1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち

予算額 77,670 千円(対前年度比 ▲379 千円)

人と人とのつながりを実感でき、互いに支え合える地域づくりを多様な主体と協働して進めていくために、地域支援の取組を充実させます。また、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指し、地域活動の活性化や地域防災力向上のための取組、地域・学校・関係団体と連携した子育て支援等に取り組むとともに、デジタル技術を活用した情報発信力の強化を図ります。



アドバイザーによる  
町内会への支援の様子

### 施策2 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

予算額 18,003 千円(対前年度比 625 千円)

まちの魅力を存分に活かしてにぎわいを創出し、活気あふれるまちづくりを推進するため、誰もが気軽に参加できるスポーツイベントの実施や、商店街振興、地域経済の活性化に関係団体等との連携、協力のもと取り組めます。

また、「都筑・ポツワナ交流児童画展」の10周年を迎えるにあたり、次世代に継承するための周年事業を実施することで、多文化理解の深まる国際交流を図ります。



ポツワナ大使と茅ヶ崎小学校との交流

### 施策3 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

予算額 4,685 千円(対前年度比 ▲1,131 千円)

緑地や農地の多い都筑区において、更に花と緑にあふれるまちを目指し、区内の地域資源である公園や緑道などの整備や脱炭素化に資する取組をします。

また、様々な主体と連携し緑化活動に取り組むとともに、フォトコンテストの開催などを通じて魅力ある豊かな環境を広く発信することで、2027年の国際園芸博覧会の機運醸成を図ります。



ハマロードサポーターによる花植

事業名	R5予算額	R4予算額	差引
<b>1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち &lt;14事業&gt;</b>	77,670	78,049	▲ 379
妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業	10,039	12,428	▲ 2,389
保育所を拠点とした地域子育て支援事業	3,280	3,415	▲ 135
つづき健康づくりサポート事業	2,705	2,193	512
食と暮らしの安全推進事業	906	788	118
自治会町内会の地域運営応援事業	9,170	6,736	2,434
地域活動の活性化事業（区民活動センター・読書活動・青少年のボランティア）	3,885	3,801	84
都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	2,033	3,561	▲ 1,528
障害者交流啓発事業	1,077	1,102	▲ 25
まちづくり総合調整事業	6,613	2,845	3,768
危機管理対策推進事業	9,437	9,765	▲ 328
災害にそなえる自助・共助の推進事業	4,539	4,896	▲ 357
安全・安心なまちづくり事業	9,583	9,583	0
広報・広聴事業	1,722	2,359	▲ 637
スムーズ区役所事業	12,681	14,043	▲ 1,362
地域で支える高齢者支援事業	0	534	▲ 534
<b>2 活力とにぎわい、魅力あふれるまち &lt;6事業&gt;</b>	18,003	17,378	625
横浜ビー・コルセアーズを活かしたホームタウン活動推進事業	3,200	1,209	1,991
文化とスポーツであふれるまちづくり推進事業	1,644	2,209	▲ 565
区民の交流促進事業（区民まつり・ドイツクリスマスマーケット）	5,729	5,729	0
在住外国人支援・国際交流事業	2,950	1,935	1,015
メイドインつづき推進事業	3,640	5,796	▲ 2,156
商店街の魅力発信事業	840	500	340
<b>3 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち &lt;2事業&gt;</b>	4,685	5,816	▲ 1,131
環境にやさしいまち推進事業	984	1,369	▲ 385
みんなで花と緑のまちづくり事業	3,701	4,447	▲ 746
合 計	100,358	101,243	▲ 885

※事業説明書内に記載されている日程は変更になる可能性があります。

## 施策1 子育て世代をはじめ、あらゆる世代が住み続けたいと思えるまち

1 妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	1,003 万 9 千円	1,242 万 8 千円	△238 万円 9 千円

地域・学校・関係団体・区役所等が連携し、子育て支援のネットワークの充実、育児不安を抱える養育者への支援、様々な課題を抱えた子ども達の居場所づくりなど、妊娠期から学齢期までの切れ目のない子育て支援に取り組みます。

### 1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦やパートナーが参加しやすいように、休日開催の両親教室を地域子育て支援センターPopola（以下「ポポラ」）及びポポラサテライト会場で実施します。

两会場とも月1回実施し、安定期に入り初めて出産を迎える妊婦とパートナーがタイムリーに受講できるようにします。

- ・ポポラ：毎月第4土曜日、年12回
- ・ポポラサテライト：毎月第2土曜日、年12回



《休日両親教室の様子》

### 2 0歳児地域育児教室（赤ちゃん会）

地域育児教室について、4月から2会場を追加し、実施回数を増やす等、引き続き仲間づくりや育児相談を行う機会の提供をします。



《赤ちゃん会の様子》

- ・18 会場 198 回（8月を除く毎月実施）

### 3 子育てネットワーク事業

地域の子育て支援の充実を図るため、関係機関との情報交換を行うほか、広く子育て支援に関わる方が参加する交流会を行います。

- ・子育てネットワーク会議：第1回5月26日、第2回2月28日
- ・子育てネットワーク交流会：12月4日

### 4 育児不安を抱える養育者への支援

育児不安を抱える養育者を対象に、電話や訪問等で継続的な支援を行うとともに必要に応じて心理士が個別の相談に対応します。

また、2歳児のイヤイヤ期への対応について学ぶ「2歳児講座」を、実施回数を2回から4回に増やし開催します。

- ・第1回5月17日（参加19人）
- 第2回8月23日、第3回11月1日、第4回2月7日

### 5 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

様々な課題を抱えた小中学生を対象に、生活習慣や学習習慣を身に付けられるきっかけとなるよう、地域の協力を得て、居場所づくり事業を実施します。また、送迎の必要がある児童等の支援を行います。（南部方面で実施、原則毎週火曜日）

### 6 学齢期の子どもや保護者への支援

未就学児のいる保護者を対象に、いわゆる「小1の壁」の不安を軽減するための講演会（動画配信を含む）を行うとともに、各小学校PTAの協力を得て同じ小学校に入学予定の保護者同士の情報交換の場を設けます。

- ・「小学校入学前に知っておきたい大切なこと～今から備える「小1の壁」～」（講演会及び情報交換会）：9月9日

#### 【区配事業】母親（両親）教室（こども青少年局）

妊娠・出産・育児について正しい知識を身につけるために母親（両親）教室（平日月1コース3回）を実施します。

#### 【区配事業】児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局）

児童虐待防止の広報啓発、こども家庭支援課職員を対象にした人材育成のための職員研修を2回、都筑区児童虐待防止連絡会の関係機関のスキルアップを目的とした関係者向け講演会を1回実施します。

**【区配事業】 放課後児童育成事業（こども青少年局）**

すべての子どもたちに豊かな放課後を過ごせる場所と機会を提供するとともに、増加する留守家庭の子ども達の居場所を充実させるため、小学校施設を活用した放課後キッズクラブや放課後児童クラブ（学童）の運営を支援します。

**【区配事業】 寄り添い型生活支援事業（こども青少年局）**

養育環境に課題がある世帯の子どもとその保護者を対象に、生活指導による日常生活習慣の改善や、学習支援による学力定着を図るための支援を行います。（北部方面で実施）

2 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	328 万円	341 万 5 千円	△13 万 5 千円

乳幼児期の子どもの健やかな成長と子育て中の保護者が抱える不安や悩みの解消のため、市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

### 1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、園庭開放を行います。子育て経験のある保育協力を配置して見守りがある中で、季節の遊びを取り入れながら子どもを安全に遊ばせるとともに、保護者の育児相談などを行います。

- ・おひさま広場：週 5 日（月～金曜日） 市立保育所 4 園
- ・おひさままつり：5 月 19 日 みどり保育園 参加 31 組 76 名  
5 月 26 日 茅ヶ崎南保育園 参加 30 組 62 名  
10 月 20 日 中川西保育園 / 10 月 26 日 大熊保育園

### 2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の方の協力者の見守りにより、毎月第 3 日曜日に園庭を開放します。

### 3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の給食や離乳食を体験する場を設けます。また、市立保育所の保育士や調理員が、食事のとり方や作り方について保護者へ助言します。

### 4 つづきっこ広場～保育園の先生と遊ぼう～

市立保育所を含む認可保育所や認可外保育施設が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを区内 4 つのエリア（6 か所）に分けて実施します。

- ・Aエリア（東山田、仲町台周辺） 9 月 1 日 東山田地域ケアプラザ  
11 月 10 日 仲町台地区センター
- ・Bエリア（中川・北山田周辺） 11 月 2 日 滝ヶ谷公園
- ・Cエリア（茅ヶ崎周辺） 10 月 27 日 茅ヶ崎中央公園
- ・Dエリア（池辺町、川和町周辺） 9 月 14 日 都田地域ケアプラザ  
10 月 18 日 みどり保育園園庭

### 5 積木交流（つみきのつづき）

都筑区では、「つみきのつづき」をキャッチフレーズとして、市立保育所に合計 2 万個の積木を用意して積木遊びに力を入れています。地域の親子が参加できる積木を使った育児講座の開催などを通して、子どもたちに豊かな体験を提供します。

- ・つみきであそぼう～合同育児講座～：12 月 16 日 区民ホール



【区配事業】 保育所・幼稚園・認定こども園子育てひろば事業（こども青少年局）  
施設の地域開放、子育て相談、育児講座、園児との交流保育等を実施します。

【区配事業】 保育資源ネットワーク構築事業(こども青少年局)  
認可外保育施設や地域子育て支援拠点を含む保育・教育施設間のネットワークを構築し、保育士向けの実践研修や公開保育の協働実施、各施設との情報交換・ノウハウ等の共有を行うことにより、保育の質の向上と地域子育て支援の充実を図ります。

3 つづき健康づくりサポート事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	270 万 5 千円	219 万 3 千円	51 万 2 千円

区民の皆様の自主的な健康づくりを支援するため、保健活動推進員、食生活等改善推進員等との協働により生活習慣病やがんの予防、食育の推進を中心とした健康啓発を行います。

#### 1 生活習慣病・がん予防啓発事業

生活習慣病やがんについて、さまざまな機会をとらえ、チラシやリーフレットを活用した啓発を行うとともに、乳がん啓発月間にあわせてピンクリボンキャンペーンを実施します。

また、働き世代の健康づくりを進めるため、区内の企業と連携して従業員の健康課題を把握しながら、横浜健康経営認証の取得等、健康づくりの取組を支援します。

- ・ 3歳児健診保護者に対する乳がん検診普及啓発：年24回（毎月2回）
- ・ ピンクリボンキャンペーン：10月

#### 2 食育推進事業

15歳未満の人口割合が高い区の特徴に応じ、子どもたちが将来にわたり健全な食生活を送ることができるよう小中学校・保育園等と連携し、情報交換会やイベントを実施します。

また、子育て支援施設等での食事相談にあわせて、養育者の関心が高い乳幼児期のむし歯予防や歯磨きに関する歯科相談を実施します。

- ・ 食育・健康フェア 6月24日
- ・ 子育て支援者会場等での食事・歯科相談：年40回（食事相談20回、離乳食相談10回、歯科相談10回）

#### 3 地域の健康づくり応援事業

連携・協力を促し地域の健康づくり活動の充実を図るため、保健活動推進員や食生活等改善推進員の活動支援や各推進員の合同の研修会を行います。

- ・ 合同研修会 8月8日 都筑区役所

#### 4 健康づくりネットワーク事業

生涯にわたる健康づくりを推進するため、保健活動推進員や食生活等改善推進員、医師会・歯科医師会、地域ケアプラザ等の関係機関・団体と情報交換・意見交換を行います。

#### 5 こどものお口の健康事業

歯みがきに対する不安が大きい1歳児と養育者に対して、歯みがきの方法やむし歯予防の知識や手法を伝えるための教室を毎月区役所で実施するとともに、地域会場でも開催します。

また、乳幼児時期から学齢期における口腔機能の発達について、保育園、幼稚園、小中学校関係者に研修会を開催します。



《1歳児の歯みがき教室の様子》

- ・ 1歳児の歯みがき教室：年20回（区役所12回、地域ケアプラザ・ポポラ等8回）

**【区配事業】** がん検診啓発事業（健康福祉局）

がんを早期発見し、適切な治療につなげることでがんによる死亡の減少を目指すため、パネル展等を実施します。

4 食と暮らしの安全推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	90万6千円	78万8千円	11万8千円

食の安全、暮らしの衛生、動物の適正飼育を推進する取組を実施します。

## 1 食の安全確保事業

### (1) 大規模商業施設や大量調理施設への監視指導の実施

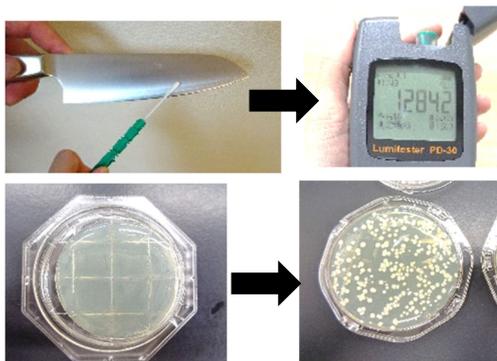
都筑区には大規模商業施設内の飲食店や大量調理施設が多く、食中毒が発生した時に被害が大きくなるリスクがあります。定期的な監視にあわせて、調理器具等の清浄度を数値化できる機器を用いながら助言を行い、自主衛生管理の推進を促します。

・洗浄度を数値化できる機器を併用した衛生指導：5月～3月

### (2) 地域活動の担い手等への検査機器を用いた食品衛生に関する啓発

高齢者の見守りを目的とした配食サービスやこども食堂などのボランティアで食事を提供する団体に対し、衛生教育のためのツール（簡易的な微生物検査ができる培地<sup>ばいち</sup>）を用いて微生物を可視化することにより、分かりやすい啓発を実施します。

・ボランティアで食事を提供する団体への啓発：7月～2月



《洗浄度を数値化できる機器や培地》



《監視指導の様子》

## 2 暮らしの衛生確保事業

### (1) 猫等による被害防止に対する支援

区民生活における猫・ねずみ・ハチの被害に対する支援として、被害防止器具の貸出しなどを実施します。

### (2) 区民が利用する施設の衛生確保

CO<sub>2</sub>濃度測定器を用いて、理美容所等の換気状態を数値化することにより、わかりやすい衛生管理の指導を行います。

### 3 動物適正飼育推進事業

動物愛護週間に長寿ペット表彰、飼い主セミナー等を実施するとともに、区民まつり等において、ペットの飼育マナー及び適正な飼育などに関する啓発を実施します。

動物愛護週間：9月20日～26日

・区民ホールにて、長寿ペット表彰パネル展示：9月20日～26日

・飼い主セミナーの開催：9月25日



《長寿ペット表彰パネル展示》

#### 【局事業】食品衛生監視指導事業・食の安全強化対策事業（医療局）

食品関係施設への立入検査や食品などの検査により食中毒や違反食品の流通を防止するとともに、食品の適正表示を推進して食の安全・安心を確保します。

- ・肉を原因とする食中毒対策 ・社会福祉施設等の食品衛生対策
- ・アニサキスをはじめとする魚介類による危害発生防止対策
- ・検査による違反食品等の排除（残留農薬、アレルゲン、食品添加物等）

5 自治会町内会の地域運営応援事業 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">拡充</span>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
		917 万円	673 万 6 千円

自治会町内会を中心とした地域運営の総合力を高めるため、自治会町内会への加入促進や情報提供のほか、自治会町内会等に専門家を派遣し、個別又は集合型のコンサルティングを行う等の各種支援を行うことで、地域運営を応援します。

### 1 自治会町内会加入促進

地域のつながりづくりのため、自治会町内会への加入促進を連合町内会自治会等と連携しながら行います。

#### 【取組】

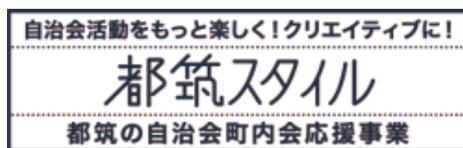
- ・未設立・新築マンションへの働きかけ
- ・転入手続時の自治会町内会活動紹介冊子の配布
- ・区内各駅や施設等での自治会町内会活動紹介冊子の配架
- ・宅建協会横浜北支部と連携した自治会町内会活動紹介冊子の配布
- ・加入促進動画の放映、パネル展の実施
- ・連合町内会等と連携した未加入世帯への働きかけ・加入取次
- ・自治会町内会活動紹介冊子の改訂版の発行

### 2 専門アドバイザー伴走型 新しい地域運営スタイル推進事業

自治会町内会の新しい地域運営スタイルを推進するため、自治会町内会等を対象に、IT活用や魅力アップ、加入促進等地域が求めるテーマについて、個別に専門家を派遣します。

また、新たに、自治会町内会に共通する課題をテーマに、複数地区が学び合う集合型のコンサルティングを行うとともに、事業の進捗状況等を全自治会町内会へ効果的に情報発信します。

これらを通じ、専門家によるアドバイスや事例紹介、互いの事例共有、地域の活動団体との連携をすることで、もっと楽しく、クリエイティブにしながら魅力アップや課題解決をしていく自治会町内会の活動スタイルを「都筑スタイル」として進めていきます。



#### 【取組】

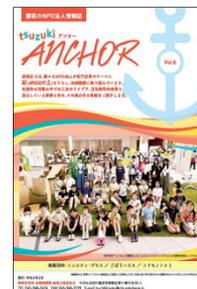
- ・都筑スタイル キックオフセミナーの開催：6月24日
- ・アドバイザー派遣の実施：6月～2月
- ・集合コンサルティングの実施：9月～12月
- ・イベント・事業実施サポートの実施：6月～2月
- ・発表会の開催：3月

### 3 自治会町内会への情報提供

都筑区連合町内会自治会（以降、「区連会」）定例会資料を、8月と12月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送し、区連会ホームページに掲載します。

### 4 NPO 法人情報誌の発行

地域資源の見える化として、自治会町内会等へ向け、地域運営を担う団体の一つであるNPO法人の活動や地域とのつながり等を紹介する情報誌「tsuzuki ANCHOR」を発行し、地域の活動主体同士の連携を促します。（年3回発行）



### 5 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状を贈呈するとともに各自治会町内会長に対し、感謝の意を表します。

#### 【区配事業】地域の担い手応援事業（市民局）

地域活動の担い手づくりを支援するため、協働の「地域づくり大学校」事業を実施し、地域人材の発掘・育成に取り組みます。

#### 【区配事業】自治会町内会館整備費補助事業（市民局）

地域活動の拠点となる自治会町内会館の整備を促進し、身近な活動の場の充実を図るため、会館整備に対する補助を行います。補助メニューは、新築・増築・耐震補強工事・修繕で、整備費の2分の1を補助します。

#### 【区配事業】地域活動推進費補助金（市民局）

自治会町内会等が実施する防犯、防災、環境美化など公益性の高い活動やレクリエーション活動などの事業費、総会開催費などの事務費に対して補助を行います。

6 地域活動の活性化事業（区民活動センター・読書活動・青少年のボランティア） <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	388 万 5 千円	380 万 1 千円	8 万 4 千円

区民の自主的な地域活動を支援し、区全体で地域活動のすそ野の拡大や更なる活性化を図るため、区民活動センターやつづきMYプラザと連携して、子どもからシニア層まで幅広い世代を対象とした地域活動支援事業を実施します。

## 1 区民活動センター運営事業

### (1) 活動団体情報のデジタル化と広報の強化

区民の自主的な地域活動を支援し、地域活動に関心を持つ人が必要な情報を得やすい環境をつくるため、活動団体や地域資源に関する情報をスマートフォン等で簡単に取得できるWEBサイトの構築やSNSによる情報発信の強化を行います。

### (2) 講座・イベント・成果報告会の企画・運営

地域活動のきっかけづくりや地域で活動する団体同士のつながりづくりを目的に、年間を通じて様々な講座やイベント、交流会を実施します。実施にあたり、区民利用施設や市民団体および地域活動に関心を持つ区民と協働で企画運営に取り組むことで、地域と連携した地域活動の促進を図ります。

- ・地域活動のきっかけづくりや情報交換の場「交流サロン」（毎月開催）
- ・地域活動の担い手づくり「大人の部活動」4団体伴走支援（通年）
- ・区民ライターが取材・執筆するWEBマガジン「<sup>えん</sup>縁ジン」による情報発信（通年）
- ・地域活動団体のスキルアップ講座「<sup>えん</sup>縁ジンミーティング」（7月、1月）
- ・地域活動の活動発表、交流会「<sup>ひと</sup>つづき人交流フェスタ」（2月）



《区民活動センター登録団体の交流イベント「つづき人交流フェスタ」》

## 2 子どものボランティア体験事業

夏休み期間を利用して、中・高校生がボランティア活動を体験し、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶ「はあと de ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～」及び小学校高学年向けの「はあと de ボランティア プレコース」を実施します。つづきMYプラザや青少年指導員が中心となり、施設や団体と連携して子どもと地域をつなぐことによって、地域で活動する大人にとっても、子どもと関わり新たな気づきの場となることを目指します。

また、同事業の発展形として、中高生が1年を通して活動し来夏の体験事業を企画する「STEP UP プログラム」（局予算事業）を支援します。

- (1) オリエンテーション：7月21日～24日、全6回、区内地区センター、都田小学校コミュニティハウス、つづきMYプラザ
- (2) ボランティア体験：7月26日～8月18日、区内各所
- (3) 修了証授与：8月19日、都筑区役所



《はあとdeボランティア清掃作業》

### 3 読書活動推進事業

区民の読書活動を推進するために、図書館と連携し、区内の各施設で読書をテーマにした、おはなし会、講演会及び展示会などを実施します。

- (1) おでかけ図書館：保育所、地区センター及び商業施設などに出向いて、絵本のおはなし会や展示広場などを行う読書活動（通年）
- (2) つづきブックフェスタ：市民団体と協働で実施する講演会、実演会及び展示会などの読書イベント（11月）
- (3) 読書懇談会：自治会、市民団体及び学校などの関係者を行う読書活動推進に関する懇談会（3月）



《おでかけ図書館》



《つづきブックフェスタ 2022》

**【局事業】 地域支援のデジタル化事業**

デジタル技術を活用した地域支援の仕組みづくりとして、自治会町内会やNPO 法人などの情報の見える化に取り組み、地域活動への参加促進、団体同士の連携強化を図ります。

**【区配・局事業】 青少年の地域活動拠点づくり事業（こども青少年局）**

中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、仲間や異世代との交流、社会参加プログラム等の体験活動を行う「青少年の地域活動拠点」を実施し、青少年の社会参画に向かう力を育みます。

**【区配事業】 横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）**

区の活動目標に基づき、地域全体で読書活動を推進するため市民への普及啓発等の事業に取り組みます。

7 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	203万3千円	356万1千円	△152万8千円

令和2年度に策定した第4期都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」に基づき、福祉保健の取組への住民参加を促進し、地域活動団体や社会福祉施設等と行政が協働して、地域づくり、支えあいの仕組みづくりを進めます。

#### 1 地区別計画推進会議等の開催支援

(1) 第4期計画推進に向けて、地域住民による課題共有・解決の体制を促進するため、地区別計画推進会議等の開催を支援します。また、会議への参加を通じて把握した地域課題について、区職員に加えて区社会福祉協議会や区内地域ケアプラザも参加する会議等の場を活用して検討し、課題解決に向けて取り組みます。

(2) 地域での取組に対して、「つづき あい基金」を通じて支援を行います。

申請受付期間 前期：6月1日～7月21日

後期：10月10日～11月24日

#### 2 地域福祉保健計画推進体制強化事業

(1) 身近な地域の福祉保健にかかわる取組を広く区民に知っていただき、参加するきっかけとなるよう、広報よこはま等を活用して啓発を進めます。

(2) 第4期計画推進にあたり、庁内及び関係機関の連携強化を図りつつ地域支援を行えるよう、地域支援に関わる区や関係機関の職員を対象とした研修を実施します。

#### 3 都筑区地域福祉保健計画推進委員会等の運営

学識経験者や各種団体の代表者等からなる都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催し、計画の推進状況、地域の取組、今後の取組課題等について意見交換を行います。

#### 4 「つづき あいフォーラム」の開催

地域の活動事例の発表等を通して、区民に身近な地域の取組を知っていただき、また担い手の方々が活動のヒントを得たり、新たな課題に気づく機会となるよう、「つづき あいフォーラム」を開催します。(2月17日)



《地区別計画推進会議》



《地域での福祉保健活動にかかわる行事》

8 障害者交流啓発事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	107万7千円	110万2千円	△2万5千円

障害があっても住み慣れた地域で生活していけるよう、障害者と地域住民との交流や障害者の社会参加を支援する各種事業を実施します。

### 1 福祉農園事業

障害者と地域の交流を行い、つながりを作る啓発事業を行います。「～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタ」では、障害者施設の事業所紹介のパネル展などを行います。(12月)



《4年度～福祉農園～障害者と地域の共生フェスタパネル展》  
年齢や障害のあるなしにかかわらず、地域で暮らす方から動物をモチーフとした作品を募集してパネルに貼り合わせ、区民ホールに自撮りスポット「つづきどうぶつえん」を設置しました。併せて障害のあるお子さんとご家族の写真展を開催し、地域共生社会の理解促進を図りました。

### 2 障害者地域啓発事業

#### (1) 区民まつり福祉バザー (11月)

地域住民が参加する区民まつりにおいて、障害者団体が出店し、障害者と地域住民の交流の機会とします。

#### (2) 障害者グループホームの地域防災拠点防災訓練への参加支援 (9月～2月)

障害者が地域防災拠点の防災訓練に参加し、地域住民とお互いに顔の見える関係を築くとともに、障害者自身も拠点の役割や機能を知る機会とします。

### 3 障害者施設支援事業

障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内、商業施設等において障害者施設の自主製品の販売を支援しています。また、この活動を区民の皆様へ周知しています。



《つづき区民まつり障害者団体自主製品販売》



《川和町駅での自主製品販売の様子》

9 まちづくり総合調整事業 <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	661 万 3 千円	284 万 5 千円	376 万 8 千円

まちづくりに関する区民の皆様の声を聴き、地域の課題解決等を図るための検討や取組を進めるとともに、関係行政機関や区内企業・教育機関等との連携を進めます。

また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりの普及・啓発を進め、区民主体のまちづくりを支援します。

## 1 企画調整・情報収集提供

### (1) 区民意識調査の実施

区民の日常生活に関する意識や行動を把握し、今後の施策の基礎資料とするため、区民意識調査を実施します。(前回実施：令和元年度) (調査期間：5月24日～6月20日、集計速報公表：9月)

### (2) まちづくり調整

あゆみが丘市有地の利活用や南部地域における市営バスの実証実験を、地域や事業を所管する局等と連携しながら進めます。また、区域内における建築協定の更新やまちづくり活動団体への支援などに取り組みます。

### (3) 東京都市大学との連携

地域課題に関する意見交換会(地域連携協力会議)、学生による地域についての研究発表会(地域連携調査研究発表会)等を行います。

### (4) 区内企業との連携

区内企業による公立小・中学校出前講座(つづき博士倶楽部)を行います。

## 2 区民文化センター(仮称)関連事業

6年度開館予定の都筑区民文化センター(仮称)の整備(本年5月着工済)とともに、隣接する鉄道高架下用地の利活用を所管局等と連携しながら進めます。

また、整備の進捗状況をお知らせするとともに、開館に向けた機運を醸成するため、区民文化センターニュースを発行します。(7月)

なお、区民文化センターの愛称をネーミングライツにより決定します(6月)

〈完成イメージ〉



〈センター北駅側から区民文化センターを見た様子〉



〈ホールの様子〉

※こちらのイメージパースは、現時点のものであり実際の建物と異なる場合があります。

10 危機管理対策推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	943万7千円	976万5千円	△32万8千円

大雨や台風による河川の氾濫を想定した水防訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。

また、区災害対策本部の運営に必要となる資器材の維持管理や、災害時に迅速かつ的確な情報収集・発信をするための運用を整備します。

## 1 関係機関と連携した災害対応力の向上

(1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。

・災害対策連絡協議会（5月12日）

(2) 「災害医療連絡会議」や「災害医療体制検討プロジェクト会議」等の場で、区医師会等の関係機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

（「診療中」の黄色いのぼり旗掲出訓練：年3回以上、仮設救護所運営訓練：1月～2月）

(3) 区独自に設置の防災用スピーカーを一斉に放送する訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体との連携強化を図ります。

・水防訓練（7月15日、18日）

(4) 区災害対策本部の運営のため、通信機能の確保や資器材の補充を行います。また、区災害対策本部訓練を実施することで、区職員の災害対応能力の向上を図ります。



《水防訓練》



《帰宅困難者対策訓練》

## 2 災害時における情報発信

(1) 災害発生時や災害発生が見込まれる際、緊急時情報伝達システムを活用し、区内の自治会・町内会長等へ避難情報等を一斉に電話で知らせるシステムを引き続き運用します。

・緊急時情報伝達システム受伝達訓練（6月9日）

(2) Jアラートについて、総務省消防庁では住民の迅速かつ確実な避難を図るため、Jアラートと連携する情報伝達手段の多重化を推進しています。都筑区では、区独自に河川沿いに設置した防災用スピーカーからJアラートが放送できる機能を追加します。



《防災用スピーカー》

11 災害にそなえる自助・共助の推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	453 万 9 千円	489 万 6 千円	△35 万 7 千円

地域防災拠点運営委員向けの研修会及び防災・減災講演会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、自助・共助の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

### 1 地域防災拠点の運営支援

地域防災拠点運営委員を対象として、地域防災拠点の開設・運営などに関する研修会（3回）を開催するとともに、地域防災拠点における訓練を支援します。また、女性の視点から安心安全な避難所生活を送るための備品を充実させるため、新たにセンサーライト等を配置します。

- ・都筑区地域防災拠点運営委員会連絡協議会（5月25日）
- ・地域防災拠点運営委員研修会（6月25日、7月2日、10月28日）

### 2 自治会町内会等向け出前講座、防災・減災講演会の開催

自治会町内会・小中学校等を対象とした出前講座や区民向け防災・減災講演会を開催し、大規模地震や風水害への備えなどの知識の向上や防災・減災に関する意識啓発を図ります。



《出前講座の様子》

### 3 鶴見川水系水害に関する連絡会の開催

区内を流れる鶴見川・大熊川、早淵川の流域にお住まいの地域の方とともに、地域の現状や課題、発災時に備えた取組などについて意見交換等を行い、地域と一体となって水害対策に関する取組を進めます。

### 4 防災マップの多言語化

災害に対する避難行動や事前の備えについて、外国人の方々の知識・理解の促進を図るため、都筑区防災マップの多言語化（英語・中国語・韓国語）を進め、区のホームページに掲載します。

## 5 災害時要援護者支援事業（つづき そなえ事業）

要援護者支援の取組の必要性や進め方に関する講演会を、区民や自治会町内会役員等を対象に開催します。（2月）

各地域の実情に合わせ災害時要援護者支援の取組が進むよう、自治会町内会単位での取組の進め方等の説明会を開催するとともに、連合町内会自治会による取組に対しては、補助金を交付します。

また、行政が保有する災害時要援護者名簿について、希望する地域へ提供します。

## 6 今すぐ取り組む健康づくり

健康づくりの観点から災害の備えを促すため作成した「食の備蓄」「口腔ケア」「衛生対策」に関する冊子「災害時にも役立つBOOK」を活用し、保健活動推進員や食生活等改善推進員等と連携して啓発を行います。

## 7 災害時のペット対策事業

災害時のペット避難について、飼い主一人ひとりが適した方法を自ら考えられるよう、飼い主向け講演会や「我が家のペット防災展」を実施し、飼い主に対する啓発を進めます。また、地域防災拠点においてペット同行避難を受入れしていただけるよう、ペット避難所開設キット（受付物品等）を配布し、各拠点の取組を支援します。

- ・「我が家のペット防災展」：9月20日～26日
- ・ペット避難所開設キットの配布：24拠点、9月から



《ペット避難所開設キット》



《ペット避難所開設キットの内容》

### 【局事業】地域の防災担い手育成事業（総務局）

町の防災組織のメンバーや地域防災拠点運営委員を対象に、防災・減災推進研修等を実施し、地域の防災活動の担い手となる人材を育成します。

さらに、市内唯一の体験型施設である横浜市民防災センターと連携し、広く市民を対象にしたテーマで防災・減災の知識を深める「防センアカデミー」を実施します。

### 【区配事業】地域の防災担い手育成事業（総務局）

地域の実状に合わせた研修プログラムや講演会の実施、啓発事業等により、地域防災の担い手の育成や、町の防災組織を中心とした自助・共助の取組の推進を図ることで、「災害に強い人・地域」づくりを支援します。

12 安全・安心なまちづくり事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	958 万 3 千円	958 万 3 千円	0 万円

交通安全キャンペーン・スクールゾーン協議会支援等交通安全事業及び放置自転車対策事業を実施し、区民の皆様の安全を守ります。さらに、犯罪を未然に防ぎ、区民の皆様の安全で安心な暮らしを実現するため、防犯活動を支援します。

### 1 交通安全運動

都筑区交通安全対策協議会を中心に、都筑警察署等関係機関・団体と連携しながら交通安全運動を実施します。さらに、日々の交通安全運動に貢献された皆様に顕彰します。

また、子どもたちの安全・安心のため、学校や警察と連携し、スクールゾーン標示の整備や交通安全啓発等を実施し、各小学校のスクールゾーン・防犯対策協議会の支援を行います。

- ・交通安全運動：年間11回実施予定
- ・はまっ子交通あんぜん教室：10校（5月～11月）
- ・スクールゾーン・防犯対策協議会の開催  
24校（区内22校+区外2校）で6月～11月に順次開催予定



### 2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域（センター南、センター北、仲町台、都筑ふれあいの丘、北山田、東山田、中川、川和町、鴨居の各駅周辺）において適切な自転車利用を行うよう、監視指導を行う監視員を配置します。

- ・放置自転車クリーンキャンペーン：10月

### 3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

#### 【区配事業】自転車マナーアップ事業（道路局）

放置自転車等が多い駅周辺にマナーアップ監視員を配置し、放置自転車等の抑制とマナーアップを図ります。

#### 【区配事業】地域防犯活動支援事業（市民局）

防犯に関する物品などを自治会町内会等に配付することにより、地域での防犯活動を支援します。

#### 【区配事業】子どもの通学路交通安全対策事業（道路局）

子どもの通学路交通安全対策に取り組む事業で、特に交通安全教育の充実、ハンプ（凸部）や狭さくなど物理的デバイスの整備などソフト・ハードの交通安全対策を重点的に実施する交通安全推進校（市内で4校）に都田西小学校が選定されています。

13 広報・広聴事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	172 万 2 千円	235 万 9 千円	△63 万 7 千円

広報よこはまや区ホームページ、SNS を活用し、区政情報や区の魅力・見どころなどを広く発信することで、区民生活の利便性向上や賑わいの創出につなげます。

また、広聴事業により、多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

#### 1 インターネット広報

区ホームページや SNS（ツイッター、LINE）を活用し、区政情報や各種イベント情報の発信、オープンデータの提供などを行います。

#### 2 PRボックスの活用

毎月 1 日、全駅の PR ボックス見開き掲示板に広報紙の最新号を掲示します。

また、毎月 15 日に広報印刷物の補充を行い、イベント・お知らせ等を周知します。

#### 3 都筑区ハンドブック発行事業

区役所業務や区内の施設情報などを紹介する都筑区ハンドブックについては、紙媒体の発行を終了し、ホームページにて掲載します。区内転入者向けには冊子の在庫がなくなり次第、ホームページの案内チラシに切り替えて配布します。

#### 4 主要事業の広報

広報よこはま都筑区版や区民ホールでのパネル展示により、区の主要事業の広報を行います。（5月25日～6月1日）

#### 5 記録兼広報用写真・動画撮影事業

区内の公園や建物等の記録兼広報用写真の撮影を行います。また、新たにドローンでの動画撮影を行います。（6～7月）

#### 6 広聴事業

各種広聴制度を活用し、区民の方や区内で活動する団体等の方から様々な意見を伺うことで、地域における課題やニーズの把握に努めます。

14 スムーズ区役所事業 <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	1,268 万 1 千円	1,404 万 3 千円	△136 万 2 千円

ICT活用をはじめとする庁舎内の環境整備や、来庁者がスムーズに手続きできるようにすることにより、業務の効率化と区民が利用しやすいスムーズな区役所を実現します。

### 1 デジタル環境推進事業

横浜DX戦略に基づきデジタル化を推進するため、庁内のICT環境の整備を図り、区民サービス向上や業務効率化につなげます。

- ・区民の方を交えた会議や講演会等でも使用する6階会議室のインターネット接続用無線LAN環境の整備(8月)
- ・会議室及び執務室の会議用モニター等の拡充(2月)



### 2 区庁舎環境改善

区民の皆様が快適に利用できるよう、区庁舎の環境改善や整備を行います。

### 3 税理士による確定申告受付事業

確定申告の期間中(2月16日～3月15日)の10日間、区民の皆様身近な区役所において、専門知識を持つ税理士の協力を得て確定申告(医療費控除の還付申告)に係る申告書の作成支援・受付を行います。

### 4 来庁者サービスアップ事業

来庁者が利用しやすい窓口になるよう、こども家庭支援課に窓口案内員を配置します。(配置時間: 8時45分～17時)

また、お子さま連れの来庁者が待ち時間にお子さまと過ごせる場所を提供します。



### 5 人権啓発講演会

人権意識の向上を目的として、区民の皆様及び職員を対象とした人権啓発講演会を、会場での聴講に加えて、オンライン配信により実施します。

## 施策2 活力とにぎわい、魅力あふれるまち

15 横浜ビー・コルセアーズを活かした ホームタウン活動推進事業 <b>新規</b> <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
		320 万円	120 万 9 千円

平成29年3月に横浜ビー・コルセアーズ、都筑区連合町内会自治会、区役所の三者で締結した「ホームタウン活動の協力に関する基本協定」に基づき、区をあげたチームの応援にこれまで注力してきました。

5年度からは、チームとの連携を更に深め、誰もがスポーツに親しむ機会の創出や街の賑わいづくりを図ります。

### 1 ダイバーシティスポーツイベント

横浜ビー・コルセアーズや地域活動団体など多様な主体と連携した新しいラン&スポーツイベントを実施します。ファミリー層や中高生を主な対象とし、障害児や外国につながる子どもやその家族を含めて、誰もがスポーツを楽しめる機会を創出し、スポーツを通じたダイバーシティ&インクルージョンを推進します。

5年度は取組のスタートとして、横浜ビー・コルセアーズや地域活動団体が実施するイベントと連携した取組を企画し、区民ニーズ等を把握したうえで、6年度からの本格実施につなげます。

### 2 都筑区グラウンドゴルフ大会

横浜ビー・コルセアーズと連携したグラウンドゴルフ大会を開催し、シニア層へのチームの認知度向上及びプロスポーツチームとの協働による地域の一体感醸成を図ります。

実施日：6月4日（雨天時6月11日）

### 3 ホームタウン広報

「都筑区応援 Day」の開催や、区庁舎を始めセンター北駅・センター南駅付近や北山田駅での広報など、都筑区全体で横浜ビー・コルセアーズのホームタウン活動を推進する機運を醸成し、街の一体感の創出と地域の活性化を図ります。



《応援 Day の様子》



《区庁舎装飾》

16 文化とスポーツであふれるまちづくり 推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	164 万 4 千円	220 万 9 千円	△56 万 5 千円

都筑区を拠点とした文化、スポーツの活動を支援することで、広く区民が文化・スポーツに親しむ機会を提供します。

### 1 つづきユースフェスティバル

地域で活動する青少年が主役となり、吹奏楽やダンス等の文化活動を区民に向けて披露する「つづきユースフェスティバル」の開催を支援することで、文化活動発表の場の提供による青少年の自己表現機会の創出を図ります。(4年度まで実施してきた「つづきウォーク&フェスタ」の内容を見直し、5年度よりフェスタに特化した新しいイベントとして開催)

実施日：11月23日、都筑公会堂

### 2 都筑区民文化祭事業

区民及び区内活動団体が自主的に運営する「都筑区民文化祭」の開催を支援し、区民が広く文化に親しむ機会を創出します。

第28回都筑区民文化祭：1月20日～2月4日

・オープニングセレモニー：1月20日、都筑公会堂

・展示部門：1月20日～2月4日、都筑区民ホール

・舞台部門：1月21日・27日・28日、2月3日・4日 都筑公会堂



《オープニングセレモニー》



《舞台部門》



《展示部門》

### 3 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、スポーツ・文化活動への関心を高めます。実施日：1～2月頃



《4年度の様子》個人12名・団体3団体

### 4 スポーツ協会活動補助事業

各種スポーツ大会や講習会を開催する都筑区スポーツ協会に対し補助を行い、スポーツ、レクリエーション活動を振興し、区民の健康増進と相互の親睦を図ります。

17 区民の交流促進事業（区民まつり・ドイツクリスマスマーケット）	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	572 万 9 千円	572 万 9 千円	0 万円

区民のふるさと意識の向上や、区民同士の交流を促進するため、次のイベントを開催します。

### 1 都筑区民まつり

区民の皆様に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう、自治会町内会や区内の各種団体などから構成される都筑区ふるさとづくり委員会とともに「第 29 回都筑区民まつり」を実施します。（11 月 3 日）



《第 28 回都筑区民まつり（4 年度）》

### 2 都筑・ドイツ交流イベント事業

在住ドイツ人の多い都筑区で日独の相互理解の促進を目的に、地元商業振興会や自治会町内会、東京横浜独逸学園、ドイツ企業等と連携し、センター北駅前の芝生広場を会場に「ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2023」を開催します。（12 月 9 日・10 日）



《ドイツクリスマスマーケット in 都筑 2022》

18 在住外国人支援・国際交流事業 <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	295 万円	193 万 5 千円	101 万 5 千円

国籍や文化的背景などにかかわらず、誰もが安全・安心に暮らすことができるまちづくりを推進するため、「都筑多文化・青少年交流プラザ（つづきMYプラザ）」と連携して、在住外国人に寄り添った日本語学習・生活支援や、国際交流を通じた多文化理解の促進を図ります。

### 1 在住外国人支援事業

外国人人口の増加傾向や多国籍化を踏まえ、在住外国人の一番の困りごとである「日本語の不自由さ」への対応として、生活に必要な情報の多言語での提供や、日本語の学習支援サポートを実施します。また、地域における支援体制の強化を図るため、外国人を支援する日本語ボランティアの養成を行います。

### 2 国際交流事業

「都筑・ボツワナ交流児童画展」が10周年を迎えるにあたり、ボツワナ共和国大使館、在ボツワナ日本国大使館協力のもと、国際局と連携し、「都筑・ボツワナ アニバーサリーイベント」を開催します。横浜市立茅ヶ崎小学校とボツワナ共和国ベン・テマ小学校の貴重な絵画交流の歩みを市民の皆様と分かち合える事業を実施するとともに、児童画を核にした交流の更なる発展と、横浜市とボツワナ共和国の関係強化を図ります。

- ・茅ヶ崎小学校とベン・テマ小学校を結んだオンライン交流の実施：10月
- ・横浜市庁舎アトリウムでのセレモニーの実施及び拡大児童画展の実施：2月
- ・児童画交流の歩みや関係者の声をまとめた動画の作成及び活用



《都筑区民ホールでの児童画展開催の様子》



《ベン・テマ小学校での児童画展開催の様子》

#### 【区配事業】外国人材受入・共生推進事業（国際局）

地域の外国人支援及び国際交流の拠点として、多言語での情報提供や相談対応、日本語教室、日本人と外国人の交流事業などを実施する国際交流ラウンジを運営します。

19 メイドインつづき推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	364 万円	579 万 6 千円	△215 万 6 千円

都筑区の製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な都筑野菜などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながる支援を実施します。

## 1 中小製造業支援

### (1) 販路開拓・企業間連携支援

県下最大級の工業技術見本市「テクニカルショウ ヨコハマ 2024」に「メイドインつづき」ブースを出展し、参加企業の技術・製品をPRするとともに、企業連携により制作したユニークな製品の数々を展示します。



《テクニカルショウ 2023 の様子》

また、販路開拓や人材確保等の観点から、参加企業の販促・広報用ツールを作成し、展示会や各種催事で活用します。

### (2) 参加企業と連携したPR活動

子どもたちがものづくりを体験できるワークショップを開催するほか、参加企業による地域貢献活動の取組を広く発信することで、住環境と操業環境が調和した住工共生のまちづくりを推進します。

また、5年度は新たに金沢区及び金沢区立地企業と連携したイベントを市庁舎アトリウムで実施し、「メイドインつづき」の更なる認知度向上を図ります。(8月)

## 2 地産地消の推進

「行こう」、「作ろう」、「食べよう」などといった様々な切り口から都筑野菜の楽しみ方や魅力をPRし、地産地消の推進に取り組みます。

5年度は、朝市(概ね月4回)、都筑野菜グルメスタンプラリー、区内公立小学校への地産地消に係る出張授業などに引き続き取り組むほか、新たに区内商業施設と連携した地産地消PRイベントを開催します。(11月)



《朝市の様子》

### 【区配事業】ものづくり魅力発信事業(経済局)

中小製造業の販路開拓とものづくりの魅力発信を推進するため、テクニカルショウ ヨコハマにおけるメイドインつづきのPRや区の垣根を越えた企業間連携などを支援します。

### 【区配事業】身近に農を感じる地産地消の推進事業(環境創造局)

農産物直売所の整備等を支援するとともに、市内で生産される苗木や花苗の配布、地産地消に関わる情報の発信など、地産地消を身近に感じる取組を推進します。

20 商店街の魅力発信事業 <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	84 万円	50 万円	34 万円

各商店街の特性や強みを活かした取組支援と魅力発信を通じて、地域間の交流や活性化を促し、街全体の賑わい創出を図ります。

### 1 商店街の魅力発信事業

都筑区商店街連合会の皆様とともに区内商店街の効果的な魅力発信方法について検討しながら事業を進めます。

具体的には、インフルエンサー※や SNS の活用、プロスポーツチームとの連携等の取組により、広報をさらに充実していきます。

※インターネット上において発言力があり、他人の行動等に影響を与える人物のこと

#### ■ 投稿内容

10月といえば、#ハロウィン ✨

ハロウィンの楽しいイベントがあると聞いて息子さんと参加させていただいてきました！

その名も

#恐怖のハロウィンバスツアー ✨

私たちは、#中川駅 からバスチケットをゲットして参加 🚌  
駅前では、テープカットのセレモニーをしていました ✨

#ハロウィンコスプレ の、  
#つづきたいちゃん にも会えました ❤️  
魔女コスかわいい 🥰

たいちゃんに見送られてバスへ 🚌  
中がすっかりハロウィン仕様で  
すごくかわかったー！



バス停は4箇所

楽しくプチバス旅が楽しめちゃいました ✨  
各会場ではイベントのお店もたくさん出て  
バス降りた後もたくさん楽しめちゃいます ✨

息子さんもおかし釣りや

ぶよぶよすくいを楽しみました ✨

#ストリートピアノ もありました ✨

他にもおいしそうなお店や  
色々な商品の販売や  
ハンドマッサージブースもあって

時間を忘れて楽しめちゃいました ✨

お天気も秋晴れで、お出かけ日和

お近くの方はぜひ遊びに行ってみてくださいね！

## 施策3 花と緑にあふれ、豊かな環境を育むまち

21 環境にやさしいまち推進事業	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	98万4千円	136万9千円	△38万5千円

地球温暖化を始めとする環境問題への対策について区民へのPRを進めるとともに、地球環境に優しい生活の普及啓発を推進します。

また、きれいな街づくりのため、地域清掃活動の支援、不法投棄防止対応、ヨコハマ3R夢プラン普及啓発などの取組を積極的に進めます。

### 1 エコ活の推進

親子向け体験型ワークショップ、食品ロス・プラスチック問題の解決に向けたきっかけづくり、家庭で取り組む3R（発生抑制、再使用、再生利用）行動の紹介等を通して、環境に優しい生活を啓発するイベントを開催します。（3月）

また、区庁舎に設置されている、窓際でつる性の植物をカーテンのように育て日光を遮る緑のカーテンの維持管理を行うとともに、区内公立小中学校を対象に緑のカーテンの設置支援を行います。

### 2 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業

#### （1）クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、駅周辺のポイ捨て防止啓発、農業専用地区等の不法投棄防止対策の支援を行います。

- ・清掃ごみ袋配付による地域清掃の支援：50団体配布（通年）
- ・センター南駅前ポイ捨て防止キャンペーン：8月
- ・農業専用地区一斉清掃：池辺、折本、新羽大熊、佐江戸宮原（6月～2月）

#### （2）ヨコハマ3R夢推進事業

3R行動推進のため、つづき3R夢週間をはじめとする各種イベントや赤ちゃん会など様々な機会を活用した区民等への啓発、「都筑区の子どもの読書活動支援」を目的とした市民団体との協働により、区民の皆様から読まなくなった本を回収し、区内小学校へ配付します。

また、フードドライブの推進など食品ロス削減につながる取組を資源循環局等と連携し進めていきます。

- ・つづき3R夢週間パネル展・イベント：7月12日～7月19日、2月29日～3月6日
- ・赤ちゃん会での3R夢啓発：9月～3月（18会場）
- ・リユース図書の配付：11月（区内小学校等）
- ・フードドライブ活動：回収した食品を区社協を通して地域の福祉施設や食の支援を必要としている方へ167点提供（5月31日時点）

### 3 都筑区地球温暖化対策・3 R夢推進会議

都筑区地球温暖化対策・3 R夢推進会議とクリーン・3 R夢推進功労者表彰式を開催します。  
街の美化や3 R夢普及啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰しました。

表彰式（5団体、9個人）：5月29日

【区配事業】公共施設・公有地での緑の創出・育成事業、保育園・幼稚園・小中学校  
での緑の創出・育成事業（環境創造局）

横浜みどりアップ計画の一環として公共施設・公有地等において、敷地内の緑化及び  
緑地の維持管理を支援します。

22 みんなで花と緑のまちづくり事業 <b>拡充</b>	R5 予算額	R4 予算額	増△減
	370万1千円	444万7千円	△74万6千円

緑地や農地の多い都筑区において、より一層、花と緑にあふれるまちを目指し、区内の地域資源である公園や緑道などを維持管理するボランティア団体・個人の活動支援に取り組みます。

また、花や緑、身近な自然に親しむ機会を広げる取組や、魅力ある豊かな環境資源の発信などを進めながら、併せて2027年国際園芸博覧会の開催意義やテーマを様々な機会を通じて広報し、機運醸成に取り組みます。

### 1 都筑区花いっぱい運動の推進

都筑の四季折々の写真を対象としたフォトコンテストを開催します。また、入賞作品を素材とした2024年カレンダーを制作し、区民等に配布します。



### 2 「早淵川・<sup>ろうばやと</sup>老馬谷ガーデン（HRG）」の維持・管理

地域及び東京都市大学と連携し、早淵川沿いの緑の拠点であるHRGの維持・管理に引き続き取り組みます。

### 3 「都筑区水と緑の散策マップ」の活用

「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源の魅力を市民に発信します。

また、地図の時点更新や使いやすさ向上のため、改訂に向けた版下作成を行います。



### 4 みどりとみちのパートナーの推進

身近な道路や公園等を清掃、維持管理するボランティア団体（ハマロード・サポーター、公園愛護会、水辺愛護会）や個人に対して花苗や清掃用具等を提供します。

また、パネル展等での活動紹介や担い手を増やすための広報を行い、活動の活性化を図ります。（7月）

団体数：205 団体（ハマロード・サポーター50 団体、公園愛護会 152 団体、水辺愛護会 3 団体）（5月現在）



《江川せせらぎ緑道のサンパチェンス》



《ハマロード・サポーター》

**【区配事業】国際園芸博覧会推進事業（都市整備局）**

2027年国際園芸博覧会に向け、市内の認知度向上・機運醸成に向けた取組を全市で実施します。都筑区でも、局と協力して、開催意義やテーマを様々な機会を通じて広報します。

**【区配事業】ガーデンシティ事業（環境創造局）**

市民、企業、団体など様々な主体と連携し、全市を挙げて「ガーデンネックレス横浜」を実施し、全市・地域で花と緑による街の魅力創出を進めます。都筑区では、「つづき みどりと花の名所25選」を巡るウォーキングなどを引き続き行います。

**【区配事業】市民が森に関わるきっかけづくり事業 森の楽しみづくり（環境創造局）**

森に関わる市民の裾野を広げることを目的として、自然の中で遊びながら生態系や自然の大切さを学ぶネイチャーゲームを市民の森で開催します。

**【区配事業】ハマロード・サポーター事業（道路局）**

自治会町内会、企業等のハマロード・サポーター各団体による市道の清掃、美化活動を支援するため、清掃用具の提供等により活動を支援します。

**【区配事業】公園愛護会活動等支援事業（環境創造局）**

公園の清掃等の日常管理や花壇づくり、利用者のマナー啓発等を行う、地域住民で組織する公園愛護会活動を支援するため、活動面積に応じた報償費等により活動を支援します。



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」  
第4期都筑区地域福祉保健計画推進・啓発バージョン